公表

事業所における自己評価結果

事業所名	るぴなすスクール駒場

公表日　令和　8年 10月 20日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11			部屋数が確保されているため 場面に応じて対応している	
	2	職員の配置数は適切であるか	11			活動により配置を変えながら行っている	学校数が多いため、学校送迎に工夫が必要
	3	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか、また子どもに合わせた環境になっているか	11			利用時間前には清掃し、活動時に汚れた場合はすぐに清掃対応している 視覚で分かるように環境の構造化を図っている	マットが汚れてきたため入替を検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11			ミーティングをおこない意見交換、情報共有を図っている	非常勤職員の意見も柔軟に取り入れられる体制を整えていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			保護者さまからご意見があった際には、その都度話し合いをし改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			ホームページ上に年２回公開している	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			全体ミーティングや強行研修等、研修に参加しスキルアップに努めている	非常勤職員に対しても研修内容の情報共有を図っていく
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			職員間で課題やニーズを話し合い、保護者さまにもモニタリング、アセスメントをとり、計画書を作成している	
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1		契約時や毎年４月にアセスメントシートの作成、更新をしている	非常勤職員に対しても情報共有していく
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11			職員間で話し合い、共通認識をもったうえで立案決定している	
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			レクリエーションの担当を変え、様々なことにチャレンジしている	
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11			子どもたちを安全に受け入れる体制を整え季節や活動時間に応じて工夫している	
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			集団での活動が主だが、作業療法士が考案したプログラムを個々に取り入れている	各々の課題に見合った個別プログラムの充足を図っていく
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			朝のミーティング時に前日の情報、課題点を共有し当日のスケジュール、役割の確認をおこなっている	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			毎回、ひとりひとりの活動内容の様子、課題点を記録し今後の支援上で必要な工夫も記載している	今後の支援上の工夫点を全職員に周知していく
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			年に２回は必ず、ケース会議をおこない、改善点や新たな課題があれば支援計画に反映している	
	17	ガイドラインの「４つの基本活動」*1を複数組み合わせて支援を行っているか	10	1		様々なレクリエーションを活動に取り入れ、公園遊びや買い物体験等、地域交流も積極的におこなっている	活動に偏りがないよう工夫していく

関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11			必ず、管理者または児童発達管理責任者が参加している	
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	11			学校送迎時にその日の児童の様子や放デイでの様子を情報共有し、来所後の支援に繋げ職員間でも共有の徹底をしている	
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1		移行会議に参加したり、その都度、相談し助言をいただいている	
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	11			管理者が毎回、参加している	
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			自宅送迎時やお迎え時に必ず、児童の様子や課題点、がんばったことを伝えご自宅での様子も伺っている	
保護者への説明責任等	24	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			契約時に説明をおこない、利用者負担額についても、問い合わせ時に都度対応している	
	25	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			面談時や保護者様からの相談、必要に応じてアドバイスやご家庭への支援をおこなっている	
	26	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			迅速に対応し、職員間で情報共有を図っている	
	27	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			年に２回会報、月に１回は事業所のおたよりを発行している。インスタも定期的に発信している	
	28	個人情報に十分注意しているか	11			書類や写真等、適切に扱っている	
	29	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			通訳の職員を介し、外国語（英語・ポルトガル語）で情報を伝えている	おたよりや書類は日本語表記だけではなく、外国語（英語・ポルトガル語）で作成している。必要に応じて通訳の職員に同行してもらっている
非常時等の対応	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11			契約時に説明をおこない、マニュアル冊子を配布している	
	31	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			ＢＣＰの作成をおこない、月に１回は必ず利用児も含めた訓練をおこなっている	
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			年に２回は必ずおこない、セルフチェックシートを用い、個々の意識づけをおこなっている。外部研修にも参加している	
	33	食物アレルギーのある子どもについて、保護者等から情報共有や対策措置などを行なっているか	11			契約時に必ず、確認しアレルギーがある児童、生徒については個別に対応している	
	34	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	11			事業所内で再発防止のための会議を開き、全事業所にも事例、再発防止策を共有している	

*1 「４つの基本活動」①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供